

2020年11月20日

各位

株式会社リボミック
(コード番号：4591 東証マザーズ)

2021年3月期第2四半期決算説明会（質疑応答）

2020年11月19日（木）開催のアナリスト、機関投資家向け2021年3月期第2四半期決算説明会における質疑応答を記載させていただきます。

尚、決算説明会の内容につきましては、本日掲載しました関連資料並びに後日配信予定の動画をご高覧願います。

1. COVID-19治療薬の開発について

質問	回答
<p>コロナ治療薬の開発競争は非常に激しい状況ですが、リボミックがコロナ治療薬の研究開発を進める本気度を教えてください。</p>	<p>当社の優秀な研究員にコロナ治療薬の研究を担当させています。研究を進めるに従い、リード化合物の創製の難しさも実感していますが、同時に、打開する道筋も見えてきました。今後は、データを積み上げ理論的に研究を進めることができると感じています。</p> <p>尚、ファイザー等のワクチンが高い有効性を示したと発表されていますが、コロナ感染対策としては、インフルエンザなどと同様、ワクチンと治療薬の両方が必要であり、いい治療薬は不可欠であると考えております。</p> <p>当社としては、アプタマーで作る医薬品の特徴を十分に活かして、コロナ治療薬（そのコロナウィルスの変異体に対する治療薬も含め）の研究開発を進めていきたいと考えています。</p>
<p>コロナ治療薬試験用の実験動物は完成しているのでしょうか？</p>	<p>マウスについては、新型コロナウイルスのスパイクタンパク質の受容体であるヒト型ACE2を導入した感染系が報告されています。また、東大医科</p>

	<p>研の河岡教授らは、ハムスターがCOVID-19の優れた感染モデルになることを報告しており、関連する研究論文を公表しています。当社としては、治療用アプタマーを動物試験に進める場合には、河岡教授と提携し、ハムスターを利用した感染モデルで評価したいと考えています。</p>
--	--

2. RBM-007（滲出型加齢黄斑変性）について

質問	回答
<p>AMD（滲出型加齢黄斑変性）における瘢痕形成の抑制が達成できれば、製薬会社に本剤がより魅力的に映ると感じました。因みに、RBM-007（AMD）について、製薬会社とGlobalな提携の話が現在進んでいるのでしょうか？</p>	<p>複数のGlobal企業がRBM-007（AMD）に非常に強い関心を持っています。ですので、現在実施中のTOFU試験並びにRAMEN試験で良い成果が出れば、製薬会社との提携に進めると考えています。</p>

3. 次世代アプタマーテクノロジーの開発について

質問	回答
<p>次世代アプタマーテクノロジーの開発として、脳内並びに細胞内因子の標的化を挙げられています。脳内並びに細胞内にアプタマーを移行させるのに、DDSを使うのでしょうか、それとも、アプタマー構造そのものにその機能を持たせるのでしょうか？</p>	<p>DDS技術の利用とアプタマー自体に送達機能を付与する方法の両方を考えています。例えば、動物個体を使った脳内移行性アプタマーの分離方法として、マウスの静脈にSELEX用のランダム配列のプールを注射し、マウスの脳内に移行したアプタマーの選択と増幅を繰り返すことで、自発的に脳内に移行するアプタマーを分離することが可能です。また、細胞内移行についても、同様な方法を利用することによって、自発的に細胞内に移行するアプタマーを取得することが可能で、すでに東大医科研との共同研究の中で検証実験を行なっています。又、脳内並びに細胞内への種々の送達技術を研究開発されている会社やアカデミアとも提携をしたいと考えています。</p> <p>尚、アプタマー等の脳内DDS技術に関しては、静脈注射等で薬物を投与する場合には、脳内への送</p>

	達効率を飛躍的に向上させることが重要で、更なる検討が必要と考えています
--	-------------------------------------

4. RBM-010（変形性関節症）について

質問	回答
RBM-010について、膝局所投与の徐放性製剤の開発を進めていると説明がありました。これは、どちらの会社と進めているのでしょうか？	海外の製剤技術を持っている受託会社にRBM-010の徐放性製剤化の委託をしています。この製剤が完成すれば、膝への直接投与による試験が実施できると考えています。

5. その他

質問	回答
前臨床段階のRBM-006、RBM-008は、本日の資料のパイプラインに入っていない。この2つの開発品は、何故、リストから外されたのでしょうか？	この2つの開発品は、前臨床ステージにあるが提携に至っておらず、且つ、自社で開発を進めるにはリスクが高いため、パイプラインリストから外すこととしました。尚、開発を断念した訳ではありませんので、将来、製薬会社との提携等が成就する可能性を否定するものではありません。
今期1億円超の売り上げを見込んでいますが、具体的にはどのような収益を見込んでいるのでしょうか？	AMEDの研究委託を受けている国立循環器病研究センターからの再委託研究開発契約に基づき、9100万円（税込み）の事業収益を予定しております。通期で計画通りの収益を達成したいと考えています。

以 上